

北海道釧路市
医療法人孝仁会
釧路孝仁会記念病院

病院らしくない、 アットホームな雰囲気をめざしました。

当物件は、従来あった医療法人孝仁会様の三病院の機能を一つに集約した、最先端医療を行う新しい病院です。既設の病院が暗かったため、今回の照明計画に関しては「明るく、アットホームな感じ」と施主様よりオーダーされました。そのためダウンライトを多用するなどして、良い意味で病院らしくない雰囲気になったと思います。

東芝さんには意匠的なものも含め、限られた予算の中で最高のものを納めていただくことで、雰囲気づくりにご協力いただきました。

施工期間は約1年間でした。通常この規模の物件で1年というのは厳しく、また設計変更等もあったのですが、早めの対応を心がけることで、予定より1ヵ月早く作業を終了させることができました。



現場代理人：
三共電気工業(株) 釧路支店
支店次長 石川 繁樹さん



ここが自慢!

外来待合

建築化照明により
柔らかな光があふれる
外来待合

外来診療室入口付近には建築化照明によりルーバを設け、柔らかな光を照射しています。



■施工物件 医療法人孝仁会
釧路孝仁会記念病院

■施設の概要

所在地：釧路市愛国192番地212
敷地面積：73,060.03㎡
建築面積：5,102.84㎡
延床面積：19,773.41㎡
構造・規模：SRC造・地上6階・塔屋1階
設計・監理：日本技研コンサルタント(株)
施工/建築：田中・タカオ共同企業体
/電気：三共電気工業(株)
竣工：平成19年11月



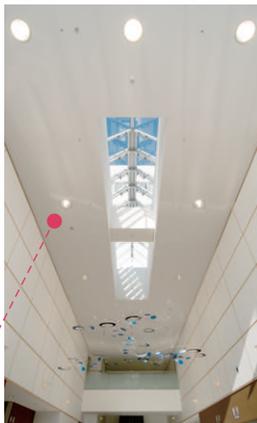


ここが自慢!

4床病室

アーム式ベッド灯により手元の明るさを確保

読書時などに必要な手元の明るさを確保します。



お施主様からひとこと

患者様が安心してかかれるような、明るく、温かみのある照明をお願いします。



医療法人孝仁会
理事長
斎藤 孝次様

釧路孝仁会記念病院は、当法人の釧路脳神経外科病院、星が浦病院、新しくろ病院の三病院の脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科等の急性期入院診療部門を集約し、より高度な急性期医療の提供を目的として開設いたしました。脳卒中、心筋梗塞、脊椎脊髄疾患、消化器疾患に対し24時間いつでも手術等対応できる体制を準備しております。

照明については、患者様が安心してかかれるような、明るく温かみのあるものをお願いしました。また24時間稼働する施設ですので、常夜灯にLED照明をご提案いただくなど、省エネにも配慮していただいています。



ここが自慢!

アトリウム

明るさとメンテナンスの両立を実現

吹抜けは400Wメタルハライドランプ電動昇降装置付ダウンライトにより、省メンテを実現しました。照度も1,000lx以上を確保しています。



ここが自慢!

ヘリポート

ドクターヘリ運用のためのヘリポートを併設

ヘリポート縁に埋込型標識灯(境界灯)を8灯、また地上型標識灯(境界誘導灯)はメイン進入方向側に5灯、サブ側に3灯の他、風向灯も設置しています。



東芝ライテック(株)からのワンポイントアドバイス!

すっきりとしたベッドまわりを実現します

- know-how ① すっきりとしたデザインで圧迫感を与えません
- know-how ② 内蔵ユニットは各設備の組合せ自由
- know-how ③ 照明器具内蔵タイプもラインアップ

医療・福祉施設のベッドまわりの設備を一体化。機能性と快適性を1つのユニットにおさめたメディカルコンソールを導入すれば、さらに便利になります。

メディカルコンソール



IMY-20800

照明器具付メディカルコンソール



IMY-40600-GL1

上下2本のランプはスイッチにより個別点灯可能です。上部は透明アクリル採用、天井と壁面を照射することで病室内の空間を柔らかい光で演出、下部は前面の乳白つや消し仕上げにより枕元を優しい光で照射します。